

われらの健康を陰で支えている

# 人体から切離された臓器・組織・細胞が 直面する問題の解決に向けて

市民の立場からなにができるか

法学、医学、社会学、生命工学ならびに組織バンク分野から  
討論者9名を迎えての検討最終会

（この課題での検討会は第2回目で終了です）

Zoomで視聴、質問にもお答えします！



臓器も組織も生きた細胞が支えてる 写真はヒト腎臓由来培養細胞の一例(ウイパ®タイプHEK293細胞)

ヒトの臓器・組織・細胞(以下ヒト組織)を身近に意識することはほとんどないかもしれません。実は移植医療だけでなく、病因解明など生命科学分野で、ワクチンなど医薬品の研究や製造に、化粧品・食品の機能性検査などに活躍していて、知らぬ間に私たちはその恩恵にあずかっています。

ヒト組織の国内での提供は造血幹細胞など進んでいる分野もありますが、一方で臓器提供など、欧米先進諸国と比較して極端に少ない分野もあり、分野発展の妨げになっています。これは私たちの健康を守る上で隠れた大問題なのです。

去る5月22日に第1回検討会を開催し、識者にお集まりいただいて問題点を洗い出しました。その結果、市民は単にヒト組織の提供者としてのみでなく、ヒト組織取扱の理念(倫理規範)や法制度にも立ち入って理解を深め、社会人としての役割を果たしてゆくことの大切さが指摘されました。

第2回の検討会ではこの分野での先進欧米諸国ではどのような倫理規範に基づいてヒト組織を取扱っているのか、わが国の法制度を今後整備してゆくためには、わが国に則したどのような倫理規範が求められるのか、(hascrossからの提案も含めて)すでに提案されているいくつかの倫理規範あるいは法律の試案について、9人の強力なパネリストに評価・批判をいただきます。市民各位がそれぞれお考えいただき、また行動いただくための糧としてご利用いただければ幸いです。

日時：2022年10月23日(日)15:30~18:00

費用：市民登録 無料 (9月3日現在23席残席があります)

有志登録 1席につき協力視聴料1万円

申込：問い合わせサイト <https://hascross.yokohama/contact/>

(‘hascross 問い合わせ’で一発検索できます) お名前、メールアドレス、「市民登録」あるいは「有志登録」のどちらかを記入ください。折返しご案内します。

当日視聴いただけない場合も後日録画で視聴頂けます。

資料：登録済み次第、第1回検討会記録と第2回検討会予稿集を郵送でお送りします。

主催：ヘルスアンドサイエンスクロスロード(hascross)

〒232-0071 横浜市南区永田北1-3-3-1 セミナー担当 松村外志張

(検討会関連の資料はホームページから参照できます)

